

第2回病院連絡会結果の概要②（大阪市二次医療圏）

2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

- 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）について、病院連絡会において認識の共有を図った。
- 各グループでは、以下のような意見が出された。
 - ・ 公的病院と民間病院では立場が違うので、役割分担を図るべきであり、医療構想を進める上でその点を考慮すべきである。
 - ・ 病院連絡会での病院のデータ提供は必要と考えるので、これからも継続したデータ提供と、そのフィードバックをお願いしたい。
 - ・ 日頃から病院間の連絡連携はとれているので、区単位ではなくもっと広域での病院が集まる場も検討してほしい。
 - ・ 大阪方式について、具体的に示してほしい。
 - 必要な機能別病床は、比率なのか絶対数なのか。ブロックで考えるのか市で考えるのか。
 - 基準は基準病床数なのか既存病床数なのか。
 - ⇒ 本件については、連絡会当日、大阪府より説明した。

● 2025年に向けた各病院の病床機能転換検討状況総計（大阪市二次医療圏）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	102	33	0	0	135
公的	▲ 303	279	13	0	▲ 11
民間等	491	▲ 684	242	▲ 195	▲ 146
合計	290	▲ 372	255	▲ 195	▲ 22